

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09020130

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 事業期間 平成23年度～平成27年度 全体事業費 92,400千円 ・全体計画樹立 一式 ・用地取得 543ha ・森林整備 造林 45ha 下刈 60ha ・地域住民を対象とした植樹活動【みどりと親しむ町民のつどい】
基本施策	2 林業の振興	事業優先度	A	
単位施策	2 多面的機能の発揮	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	北の魚つきの森環境整備事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成27年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	森林の多面的機能		#N/A	
事業目標	水産資源の保護、自然環境の保全	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	有 地域住民を対象とした植樹活動	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	無	

122 全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計画内容	用地取得 65ha 造林 50ha 下刈 105ha	用地取得 20ha 造林 15ha 下刈 5ha	用地取得 20ha 造林 15ha 下刈 20ha	用地取得 20ha 造林 10ha 下刈 35ha		
	事業費(千円)	54,000	17,800	20,800	15,400	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	25,148	8,308	10,000	6,840	
地方債	0					
その他	2,700	1,000	700	1,000		
一般財源	26,152	8,492	10,100	7,560		
実績事業費	事業費(千円)	51,453	16,324	19,735	15,394	0
財源内訳						
国庫支出金	0					
道支出金	27,739	9,498	10,624	7,617		
地方債	0					
その他	8,224	3,594	2,178	2,452		
一般財源	15,490	3,232	6,933	5,325		
関連事項	特定財源の名称 町有林造林事業補助金 町有林下刈事業補助金 町有林素材売払収入 ニトリ北海道応援基金 助成金	【評価・実績】	(実施内容等) 用地取得 29ha 造林 15ha 下刈 5ha ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 用地取得 22.6ha 造林 15ha 下刈 20ha ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 用地取得 23.9ha 造林 10ha 下刈 35ha ※事務事業評価結果 A-終了	(実施内容等) ※事務事業評価結果
	前記計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	用地取得20ha、造林15ha、下刈5ha	用地取得20ha、造林15ha、下刈20ha	用地取得20ha、造林10ha、下刈35ha	
	年度達成率		92%	95%	100%	#DIV/0!
	第6期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	30%	67%	95%	95%
	備考欄					

事業名	北の魚つきの森環境整備事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	林務係長	渡部 憲一

様式1
平成27年度実施
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	北の魚つきの森	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	用地取得面積、造林面積	
【抱える課題やニーズは】	水資源と自然環境の悪化	指標(指標計算式/解説)	指標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	無秩序な開発防止と未立木地や伐採跡地の解消を図るため、町有林として適切に維持管理する	① 用地取得面積÷用地取得計画面積	目標年度	平成27年度
			目標値	20.0 ha
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町有林として適切に維持管理し、水資源の保護と自然環境の保全を図る	② 造林面積÷造林計画面積	実績値	23.9 ha
			達成度	119.5 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①下列の実施	人工林の健全な育成を図るために、苗木の周囲に繁茂して苗木の生育に支障となる笹・草の刈払いを実施した。		
	②造林の実施	北の魚つきの森区域内の無立木地に植栽を実施した。		
	③用地の取得	北の魚つきの森区域内の公有林化を図るため、幌内川沿いの山林、原野を取得した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	水資源の保護、自然環境の保全を図るため、山林や原野を取得して公有林化し、適切な森林整備を行うことで、未立木地や伐採跡地の解消を図る。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	北の魚つきの森区域内の造林と下刈を実施し、公有林化を図るため用地を取得した。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	造林・下刈は森林環境保全整備事業の対象事業であり、北海道が示す標準単価を参考にしていることから、コストは妥当である。また、補助金を活用して事業を実施することができた。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	用地取得は現況を精査し、適当な価格で購入することができた。
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	河川環境を整備と、水資源の保護と自然環境の保全が図られ、その恩恵を誰もが享受できる。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
水資源の保護と自然環境の保全を図るため、北の魚つきの森環境整備事業全体計画に基づいた用地取得と、造林・下刈を行うことができた。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
北の魚つきの森環境整備事業全体計画に基づいた用地取得率が103%に達したことから、所期の目的が達成された。また、造林・下刈については、町有林造林事業・町有林下刈事業で継続実施とする。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止